



## 「核兵器禁止条約第1回締約国会議と第10回NPT再検討会議終了を受けて」開催

昨年1月21日、核兵器禁止条約が発効されて今年の5月23日に第1回締約国会議が開催されました。続く8月には第10回NPT再検討会議が開催されたのですが、結果はロシア1国の反対により最終文書が採択されずに幕を閉じました。神奈川県原爆被災者の会は、NPT再検討会議に参加をした日本被団協事務局次長・神奈川県原爆被災者の会副会長 和田征子さんによる参加報告と、朝日新聞記者田井中雅人さんによる講演会を開催しました。

■ 日時／2022年10月11日(火) 13:30～15:30

■ 場所／ワークピア横浜 かもめ・やまゆり (横浜市中区山下町24-1)

■ 内容／司会 神奈川県原爆被災者の会 副会長 木本 征男さん

主催者挨拶

神奈川県原爆被災者の会 会長 丸山 進さん

NPT再検討会議参加報告

日本被団協事務局次長・神奈川県原爆被災者の会 副会長 和田 征子さん

ゲスト報告

KNOW NUKES TOKYO 共同代表 中村 涼香さん

基調講演 「NPT決裂、どうなる核兵器廃絶への道」

朝日新聞記者 田井中 雅人さん

挨拶 (来賓を代表して)

神奈川県生活協同組合連合会会長・

すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める連絡会 座長 當貝 伸一



## 第56回 神奈川県原爆死没者慰霊祭・2022年追悼のつどい

10月2日(日)、第56回神奈川県原爆死没者慰霊祭と2022年追悼のつどいが大船観音寺境内の原爆慰霊碑前にて行われました。新型コロナウイルスが収束していない状態のため、昨年に続いて遺族と被爆者に限定しての開催となりました。

- 日時／2022年10月2日(日) 10:00～11:30
- 場所／鎌倉市岡本 大船観音寺境内 原爆慰霊碑前
- 主催／神奈川県原爆被災者の会

### 慰霊祭

司会 木本征男さん  
 黙祷  
 合祀者名簿奉読 福島富子さん  
 導師入場 (大船観音寺ご監寺)  
 読経  
 献水 村山恵子さん、秦政晴さん  
 献花 遺族代表 鈴木郁江さん  
 遺族、被爆者  
 導師退場  
 閉会挨拶 網崎万喜男さん

10:00～  
10:30

### 追悼のつどい

司会 木本征男さん  
 主催者挨拶並びに追悼の言葉  
 神奈川県原爆被災者の会 丸山進会長  
 追悼のことば (メッセージ披露)  
 神奈川県知事 黒岩祐治様 (東勝廣さん代読)  
 日本原水爆被害者団体協議会様 (和田征子さん代読)  
 神奈川県生活協同組合連合会 (山口千代子さん代読)  
 原水爆禁止神奈川県協議会様 (木戸キク子さん代読)  
 遺族代表挨拶 秦政晴さん  
 折鶴献納 井上満恵さん  
 音楽「悲しみを越えて」曲紹介 福島富子さん  
 閉会挨拶 和田征子さん

10:30～  
11:30



## 2022年度 監事研修会を開催しました。

9月29日(金)、会員生協の監事・監事スタッフ対象に監事研修会をオンラインで開催し12生協から27名の方にご参加いただきました。

前半は、令和3年の指導検査の結果について県から報告をいただき、実際の指導事項の内容や対応について共有を図りました。後半は、日本生活協同組合連合会から講師を招き「生協のガバナンスと監事監査」について講義を行い基礎知識について学びました。いずれも今後の監事活動の生かせる内容となりました。

- 日 時／2022年9月29日(木) 14:00～16:30
- 開催方法／オンライン開催 (zoom使用)
- 参加者／12生協より27名

うらがCO-OP、神奈川高齢者生協、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、かわさき生活クラブ生協、湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協、川崎医療生協、神奈川みなみ医療生協、ナチュラルコーポコハマ、やまゆり生協、東都生協

### ■ 内容／ 県報告

令和3年指導検査の結果報告について  
 報告  
 神奈川県くらし安全防災局くらし安全部  
 消費生活課指導グループ 奥田 春菜 様

### ■ 研修テーマ

「生協のガバナンスと監事監査」について  
 講師  
 日本生活協同組合連合会  
 総合マネジメント本部 法務部 井藤 康治 様  
 I 生協のガバナンスと機関運営  
 II 監事の職務と権限・義務・責任  
 III 監事の活動を考える ～4つの視点から～



## からだ 動ける身体をつくる! フレイル対策 チェック編



フレイル対策の3本柱である栄養、運動、社会参加の中で、運動は元気に動ける身体づくりを目指しており、思い通りに身体が動くかどうかは生活機能と直接的に関与しています。運動というと激しいスポーツや過酷なトレーニングを想像してしまうかも知れませんが、目標となるのは生活を難なく送るために必要な体力の維持・向上です。日々の生活に必要な身体機能は生活体力とも呼ばれています。

身体的能力には筋力、持久力、調整力(敏捷性、巧緻性、柔軟性、バランス能力)などがあり、それぞれの能力は見た目にも分かる場合があります。一流のアスリートやオリンピック選手を見れば一目瞭然ですが、重いバーベルを持ち上げるウエイトリフティングの選手は逞しい筋肉を持った身体の大きい人が多く、長距離を走るマラソン選手は見た目には筋肉が少なく脂肪もついていない細身の人が多いです。

体操選手は両者の中間ぐらいのしなやかな身体つきをしている事が想像できると思います。これらの事は筋力、持久力、調整力が独立した能力である事を表しており、例えばウエイトリフティングの選手は長距離を走るの不得意であり、逆にマラソン選手は重いものを持ち上げるのが苦手といった関係があります。しかし、身体能力は加齢とともに一体化しやすくなります。特に高齢期になってくると、筋力や持久力の得意・不得意ではなく、体力の有る人と無い人といった別れ方になっていきます。加齢にともなって筋肉は小さくなっていきますので、見た目にも小さくなっていきます。その中で、体力のある人は見た目もしっかりしているだけでなく、重い荷物

を持ち上げることができ、若い人と同様に長時間に渡って活動を続けることができます。

一方で、体力が無い人は筋力も弱く、持久力も少ない、身体も硬いといった事が起きてきます。筋力が少ない事だけで現れる生活上の支障は固いフタを開けられないという程度の事で済みますが、持久力・調整力もあわせて低下することで、歩行機能が低下してしまいます。体力が無いことで長時間連続して歩くことができない、ひいては移動する事が困難になってしまい、生活に大きな支障を持つこととなります。生活体力を保つ取り組みの中心には歩行機能の維持があると言っても過言ではありません。

フレイル対策に興味のある方は、まずご自身の歩行機能をチェックして頂く事が重要かと思えます。75歳以上の方は連続して15分以上、74歳以下の方であれば20分以上歩くことができるかが目安とされています(健康長寿新ガイドライン)。また、階段であれば休まずに1階から3階まで上ることができなくてもチェックすることができます。74歳以下の方は1階から5階までにチャレンジしてみてください。無理のない範囲でチェックして頂き、思っていたよりもきついなと思われた方は身体づくりの第一歩として外出する機会を増やして頂ければと思います。

東京都健康長寿医療センター研究所  
鈴木 宏幸先生



### 健康づくりリーダーフォローアップ研修会を開催しました。

9月22日(木)健康づくりリーダーフォローアップ研修会をオンラインで開催。5生協から36名が参加されました。前半は、「フレイル予防」をメインにした健康づくり体操の動画を4本紹介し、動画に合わせて参加者全員で体操を実施しました。

後半は、健康チェックの基本やフィードバックのポイントについて再確認を行いました。最後に各生協の活動紹介・交流を行い、コロナ禍で健康チェック活動が十分にできていない中、神奈川北央医療生協では「青空塩分チェック(味噌汁持参し塩分チェック)」の実施や尿中の4つの検査ができる「ウロペーパー」など売れ始めており健康を心配される方が増えてきていること、福祉クラブではフレイルの話と管理栄養士監修の配食を持ち帰って食べてもらう取り組みや健康チェック開催数は減少しているが交流の場につながっていることが報告されました。

またパルシステム神奈川と福祉クラブ生協では今年度より生協独自のリーダー養成講座を開催していることが紹介されました。改めて、健康チェック活動の場が測定にとどまらずコミュニケーションの場や居場所づくりの場としても大切であることを共有しました。

- 日 時 / 2022年9月22日(木) 14:00~16:00
- 会 場 / オンライン開催(ZOOM使用)
- 参加者 / 5生協36名 福祉クラブ生協、うらがCO-OP、パルシステム神奈川、富士フィルム生協、神奈川北央医療生協
- 内 容 /
  - 講話と実技: 「健康づくり体操を学ぼう」(動画紹介と実技)
  - ①~コロナに負けない~ おうちで簡単フレイル予防体操
  - ②「健口体操」③「転倒防止 足指体操」④「ペットボトル体操」
  - 講話と交流: 健康チェックの基本とフィードバックのポイント
  - 各生協の活動報告と交流
  - 健康チャレンジ2022について

# 東京・埼玉・千葉・神奈川 4都県生協連共催:憲法学習会開催報告

## 守りたい! 私たちの暮らしと平和 ~今こそ考えよう 世界のこと 日本のこと~

- 日時/2022年9月17日(土) 14:00~16:00
- 方法/オンライン(Zoom / YouTubeライブ配信/アーカイブ配信)
- 講師/谷口 真由美さん (法学者・大阪芸術大学客員准教授)
- 参加/Zoom 33人、YouTube視聴(アーカイブ視聴含む):129人 合計 162人

昨年のジェンダー学習会に続き、今年も4つの都県生協連による共催で学習会を開催しました。世界では暮らしと平和をめくって多くの問題が起こっており、日本においても物価上昇、貧困格差、そして災害の多発により社会や生活の不安が広がっています。そのような中「今こそ改憲して社会不安や課題を解決すべき」という意見も聞こえます。あらためて国や国民のあり方を示す「日本国憲法」を読み解き、どうしたら「私たちの暮らし」「私たちの平和」が守られるのかを皆さんと一緒に考える学習会として、谷口真由美さんを講師に開催しました。

谷口先生より、「憲法を読むとき、主語を『一人称(私は)』に置き換えて読むと、書かれていることがグッと身近に感じます」「民主主義は多数決の論理ではなく、いかに少数者の意見を反映できるかということなのです」「憲法は日本という国の一番根本となる法なので、9条以外にも知っておいて欲しいです。改憲、護憲の前に、『知憲』が大切です」など、憲法を身近に引き寄せて知ることのヒントなどを分かりやすくお話しいただきました。



講師：谷口真由美さん



主催者挨拶：神奈川県生協連 庭野文雄専務理事



司会：東京都生協連 大田敬子さん

# 神奈川県消費者団体連絡会 公開学習会開催報告

## 農薬が人の健康に与える影響について

ネオニコチノイド系  
農薬を中心に

神奈川県消団連の公開学習会として、環境脳神経科学情報センター・副代表の木村一黒田純子さんによる学習会を開催しました。

農薬は便利である一方で基本的には毒物であるため生態やヒトへの毒性があること、農薬など有害な環境化学物質の曝露が、近年急増しているといわれている発達障害が一因とする研究が蓄積してきていること、また発達神経への毒性のある有機リン系、ネオニコチノイド系農薬、プラスチックに含まれる環境ホルモン物質や発がん性など毒性があるといわれている除草剤に含まれるグリホサートなど、日本は諸外国より規制が緩いことなどお話しいただきました。

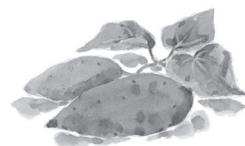


講師：木村一黒田純子さん

今、我々のできることとしては、農産物はなるべく無農薬や有機農産物を選び(学校給食

にも)、家庭用・園芸用殺虫剤、除草剤をなるべく使わない(子どもは特に注意)、抗菌剤、殺菌剤などの乱用も控え、使い捨てプラを使わないなど多々あるが、あまり神経質にならずに、できることからやりましょう、と話されました。

- 日時/2022年10月6日(木) 13:00~14:15
- 会場/神奈川県生協連会議室・zoomを使用したオンラインの併用
- 講師/木村一黒田純子さん  
(環境脳神経科学情報センター・副代表、医学博士)
- 参加/22名：Zoomによるリモート参加 10名  
(うち一般参加者 7名)、実参加 12名



## 2022年度 第3回 理事会報告

- 日時/2022年9月20日(火) 14:00~15:30
- 会場/オルタナティブ生活館  
5階会議室「まなびや」(ハイブリット開催)

- 【議決事項】 なし
- 【協議事項】 神奈川県生協連2022年度賀詞交歓会開催について